

鼎談：IHE導入裏話

藤田保健衛生大学
放射線医学総合研究所
放射線医学総合研究所

江本 豊
安藤 裕
向井 まさみ



背景

- “大江戸病院”では、来年1月の新築移転に向けてシステム導入を検討している
- 診療科
 - 内科，外科，脳外科，小児科，
 - 眼科，泌尿器科、放射線科
- 病床数：300床 外来患者数：700人
- 本日の登場人物
 - 放射線科部長：アンディ先生
 - 医療情報室：向井
 - コンサルタント：江本

要求仕様書とは

ユーザがメーカーに
何をして欲しいかを伝えるためのもの

要求仕様書(向井案)

導入するシステムは、以下のとおりであり、
全て『IHE』に完全準拠すること。

1. 電子カルテ
2. RIS
3. PACS

以上

最低限必要なことは？

- ・統合プロファイル
- ・アクタ
- ・トランザクション

向井(案)に書かれていること

要求仕様書
(向井案)



具体性がない

—幼稚園の発表会—
グリム童話をやりなさい



白雪姫

ブレーダンの音楽隊

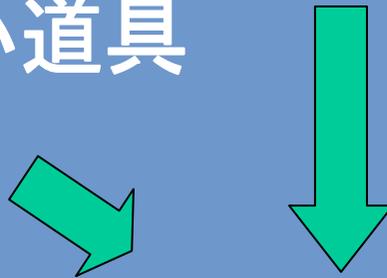
IHEに記述されていること

- 統合プロフィール → シナリオ → 白雪姫物語(SWF)
- アクタ → 登場人物 → 白雪姫(ADT)
女王(OP)
小人(OF)
- トランザクション → セリフ → 「このリンゴをお食べ」
(MWM)

IHEに記述されていること

IHEは画一化を目的とするものではない

- ・セリフ → 「このリンゴをお食べ」
- ・大道具, 小道具



演出家＝施設(担当者)の考え方

企業の取り組み ピー・エス・ピー - IHE-J - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り

アドレス(D) <http://www.ihe-j.org/enq/e20/index.html> 移動 リンク >>

Google G 検索 ブックマーク ブロック数: 223 チェック 翻訳 次へ送信 設定

infoseek Google検索 英和 和英 国語 ページ翻訳 ブログ 便利情報 ニュース お買い物

> [トップ](#) > [企業の取り組み](#) > [ピー・エス・ピー](#)

企業の取り組み

■ **ピー・エス・ピー株式会社(2006年6月現在)**

〒106-0031 東京都港区西麻布4-16-13 西麻布28森ビル
TEL:03-5485-1028 FAX:03-5485-2479 URL:<http://www.psp.co.jp/>

■ **Q1. いわゆる標準化技術に対してどのように考えていますか？
また、実際どのように取り組めますか。**

現在、画像診断および病院情報システム関連の技術の進歩は目覚ましい。
また、マルチベンダーシステム化が加速するなか、相互運用性において標準化技術の確立は必須であると認識しており、DICOM, HL7, IHEなど標準化の動向を積極的に把握し、標準化技術を的確に弊社開発製品の中に適用していきたい。

■ **Q2. 標準化対応の中でIHEをどのように考えていますか？
また、実際にどのように取り組んでいますか？**

IHEのユースケース別に、既存の標準の使い方を規定したIHEフレームワークと相互接続性試験(コネクタソン)は、ほかの標準化における取り組み方とは異なり意義深い。日本の医療施設における IHEによるマルチベンダーシステムの構築事例はまだ少ないが、医療施設間連携およびマルチベンダーシステム化に伴い、IHEはさらに重要なフレームワークとなることが期待される。
弊社は、IHE-J2005コネクタソンおよびGayber RAD2006に初めて参加させていただいた。この経験をもとに、新たなIHEカテゴリ、プロファイルの実装を強力に推進していきたい。

■ **Q3. マルチベンダーによるシステム構築は、放射線分野から電子カルテに広がる動きがあります。IHEでコネクタソンに参加した経験から、今後の電子カルテ普及におけるマ**

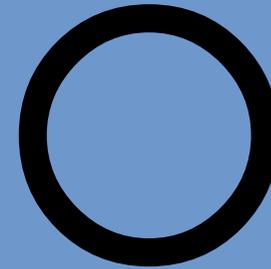
トップページ
IHE-J概要
What's New
IHE-J行事
IHE-J資料
導入施設
コメント募集
IHE-J委員会議事録
企業の取り組み
Q&A
IHE-J用語集
リンク集

IHE-Jについてのご意見・ご質問

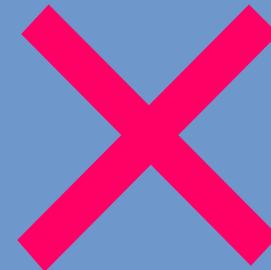
ページが表示されました インターネット

コネクタソンとは？

接続性の適合試験



必ず製品がある

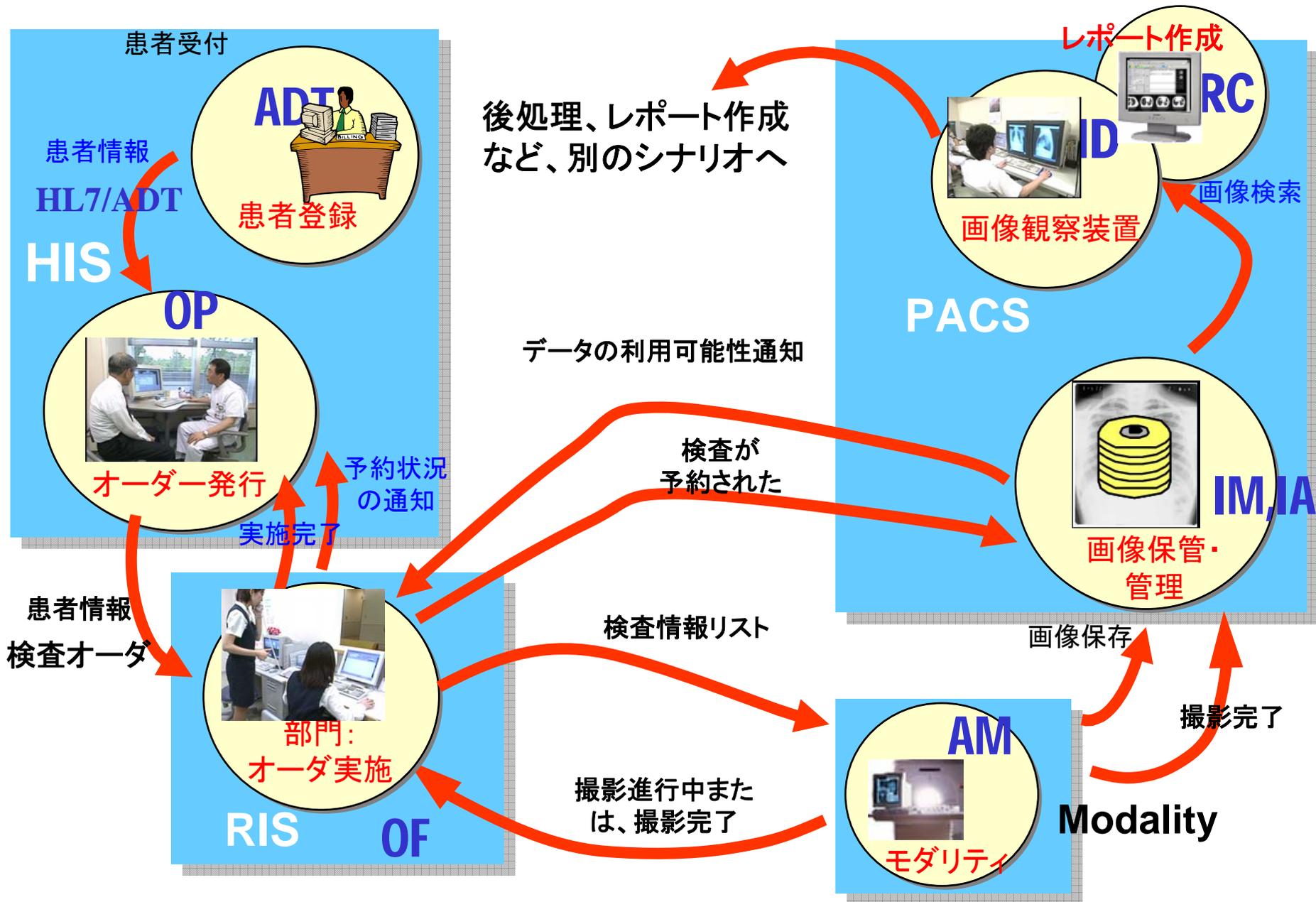


IHEに記述されている範囲

ある部門システム

優れたユーザーインターフェイス
各種統計
マスタ作成

IHEで
できる範囲



まとめ

- 統合プロフィール、アクタ、トランザクション
- 何がやりたいか
- 範囲を決める
- すべてを行なう必要はない

要求仕様書を書いてみよう！

IHEによるRFP例

<まえがき>

医療情報システムは、IHE-Jに基づき構築を行なうこと。

<範囲>

今回の構築範囲は、以下のプロファイルの範囲とする。ただし、モダリティなど既存のもので、対応することはできない部分は除くものとする。その他、不明瞭な部分に関しては、施設担当者との協議の上、システム構築を行なうこと。

- ・SWF
- ・PIR

IHEによるRFP例

- 1.1.2 患者が新規に登録された場合の連携は、SWFに基づく情報連携を行なうこと。
- 1.1.3 放射線受付にて患者の受付処理を行なったタイミングで、OFからOPへステータス情報を送信し、これによりOPでのオーダ変更を不可とすること。ただし、この表現の仕方については別途協議すること。
- 1.1.5 RIS上のステータスは<未受付><受付済み><実施済み><呼び出し中><撮影中>とするが、各端末での設定によりリスト表示がソート条件も含めて任意におこなえるものとする。またデフォルト値を端末単位で制御できるものとする。たとえば未受付の病棟患者を病棟別に表示するなどが可能であること。
- 1.2.2 患者情報が変更された場合も<1.1.2>同様に、情報が連携されること。ただし、この連携は入力確定操作のタイミングとする。
- 1.2.5 身体情報が更新された場合も<1.1.2>に準拠した手段にて、情報が連携されること。ただし、この連携は入力確定操作のタイミングとする。

IHEによるRFP例

1.2.6 受付の方法を以下に示す

- ①リストバンドのバーコード(患者ID)をバーコードスキャナで読み取る
- ②診察券のバーコード(患者ID)をバーコードスキャナで読み取る。
- ③受診票のバーコード(患者ID)をバーコードスキャナで読み取る。
- ④患者IDを受付処理画面に直接キーボード入力する。
- ⑤撮影室画面で患者名を選択し受付処理をする。

1.2.7 撮影機器に対し、SWFに基づき患者属性及び検査情報を送信すること。
なお、詳細な運用・手法については別途協議すること。

1.2.8 MPPSに関してもSWFに基づき連携すること。
なお、詳細な運用・手法については別途協議すること。

1.2.9 SWFに基づき、画像情報がサーバに保存され利用可能になったことが臨床側でわかるようにすること。ただし、詳細な運用・手法については別途協議すること。

これにて 完

ご清聴ありがとうございました